



## 第12回 賢く走ろう

今回は、まあちょっと足りないですね、ドライバーが目につきます今日この頃ですので、知的運転術などを御披露する、ような立場ではないかもしれませんが、まあ読み流してちょうだいな。

### 1 なれるな！ BOX車事故をかえりみて

どのくらい前の話だったか忘れたが、1BOXワゴン車のサンルーフから頭を出していた子供数人が、車高ギリギリの橋げたに頭をぶつけて即死するという事件が起きた。死んだ子供達は運転していた母親の子供の友達（ややこしい）で、その母親の子は直前で頭を下げていて助かったという。

さて、ここで考えたいのは、なぜドライバーである母親が、子供達に注意を与えなかったのか、ということだ。おそらくこの事故現場である橋げたは、普段からよく通っている生活道路ではなかったか？ もしそうで無ければ、このような事件が起こることはなかったのではないか、と私は思うのだ。

家の近所や毎日通勤で使う道路を走っているとき、ドライバーは往々にして無意識状態になっていることが多い、と思う。車なんて考え事をしながらでも、けっこう走ってしまうからだ。事故を起こした母親も、何か考え事をしていたのであるまいか。

ここで私が言いたいことは、馴れた道でも初めての道でも、事故を起こす可

能性というのは、ほとんど同じだということだ。むしろ初めての道は慎重に走るため（走らないという人も、まあ居ますがね）、事故率が低いかも知れない。逆に馴れた道というものは、事故の可能性が高いところでも（見通しが悪いとか、飛び出しが多いとか）、今まで起こらなかったことが起こるわけがない、という思い込みが有るためにかえって危なかったりするのだ。これを教習所で言うところのダロウ運転 {起こらないだろう} という。

事故というものは、いくつかの偶然のAND集合であり、起こる可能性というのは限りなく0に近い。しかし、起こってしまったのは、もう取り返しのつかないものなのだ。特に人身事故は。

死んだ子供達の親は、好意で乗せてもらっていたものだし、近所付き合いをしていた仲なので、起訴はしないと書いていたが、それにしても乗せた母親の方は、一生涯・・・。

## 2 スピード出しますか？ いったいどのくらいの時間走ってるの？

街中を物凄いスピードで走り抜けるバカがいる。単に目立とうということが目的ならば、単純なバカである、カワイイとさえ思う。また車のスピード性能を誇示したいと考えている輩なんかはカワイソウだと思える。信号ダッシュで飛び出し、数百メートル走ったらまた信号でストップ！ なんか哀れだ。

しかし、心底バカだと思うのは、目的地に急ぐあまりスピードを出す輩である。心情的には理解できるものの、そういう運転は、焦っていればいるほど危ないものなのに。

考えてみよう、我々が自動車に乗る目的は、せいぜい数キロか数十キロ先の目的地までのドライブである。時速40キロ平均で走れば、数十分で到達するはずである。これを時速80キロで走れば確かに半分の時間で行く。だが、現実とは違う。10キロ先の目的地までなら、時速40キロでも80キロでもおそらく、どちらも30分ぐらいかかるのが現実ではないか。

街中で走っているとき、全走行時間のうち、満足すべき速度で走っている時間はどのくらいだろう。ここ3日ほどの間、千里の自宅から茨木の高校までの間やちょっとしたドライブの間に、信号や渋滞による停車で、どの位の時間が必要か調べてみた。

停車する度に時計を見て、発車するまでの時間を覚えていてメモを取る、という繰り返しでデータを取ってみた。すると、おしなべて全走行時間の20%ほどが、信号による小刻みな停車時間の積算時間であった。

走行時間のうち、信号停車だけで20%の時間を費やしているのである。しかも信号停車以外にも、右折時や、歩行者のための停車や、バスや停車車両などのための停車など様々なパターンがある。それらも積算すると、かなりの時間を停車していることになる。

さらに、である。停車の前後にはかなりの時間を要して加減速が行われている、のだ。つまり満足すべきスピードで走っている時間というのは、ごく僅かなのである。

信号、曲がり角、横断歩道、徐行・一時停止の標識、犬猫子供類の飛び出し、バス駐車車両、それらの度に、我々は速度を落とし・停まり・再び加速という動作を繰り返すのだ。いや、この一連の加減速の合間に、満足すべきスピードが瞬間的に出ていると言っても良いだろう。それはおそらく全走行時間の20%に満たないであろう。

この僅かな時間を精いっぱいスピードを上げて、わずかな時間の短縮と引換えに、事故を起こす可能性を高めている……。

### 3 事故による渋滞 あなたな～ら どうする？

渋滞には原因がある。

地形、合流、天候、工事、事故。

前の3つについてはどうしようもありまへん。あきらめてちょうだい。地形的なものは渋滞する道路が便利だから、またはその道しか無いから、渋滞するわけだ。合流に関してもしかり。天候によるものは、迂回してもおそらく渋滞しています、よけい時間がかかるだけ。しかし、後の2つ、事故と工事（慢性的な物ではなく、突発的な工事）については、迂回という対応が有効であります。

さて、この迂回、けっこう難しい。あまり脇道に入っては目的地を失いかねないし、その結果、道に迷ったらこれはバカだ。また迂回し過ぎて元の道に行くより時間がかかったというのも本末転倒、これもバカまるだしだ。

さて、賢いドライバーたるためには、いかにあるべきか。「普段から準備を」これしかありませんな。渋滞にあってからヤミクモに地図を引っ張り出したりしても遅い。迂回するべく入り込んだ袋小路で立ち往生したり、迂回路がのっぴきならない二次渋滞になっていたりとかね。

日曜の午後とかね、なあんにもする事が無いなあって時があるでしょう。そういう時にですね、まず家で地図を見て、普段使っている道路からちょっと外れるような道路を探して、行ってみるわけですよ。私なんかは夜にドライブがてらに、よく行ったりしてますが。ダメならダメでよし、もし使えるようなら実際に時間に余裕のある時にでも試験的に通ってみたら良いのです。

また、渋滞の原因を確かめ、果たして迂回する事が正解かどうかよく確かめる必要があります。さらに事故や工事による渋滞なら、その場を過ぎれば流れるわけですから、必要以上に迂回しないということも大事でしょう。そのためには、迂回用道路と本命の道路をつなぐパイプも何本も確保しておく必要がありますね。けっこう大変だなあ。